

汚染土壌の区域外搬出届出書

平成28年 // 月 // 日

東京都知事 殿

届出者 東京都港区港南2丁目15番2号
株式会社 大林組
代表取締役社長 白石 達

土壌汚染対策法第16条第1項の規定により、要措置区域等から搬出する汚染土壌について、次のとおり届け出ます。

要措置区域等の所在地	港区虎ノ門一丁目211番3の一部、同番7の一部、同番19、227番7の一部、同番16、228番1の一部、同番12の一部
汚染土壌の特定有害物質による汚染状態	砒素、ふっ素（土壌溶出量基準不適合） ※詳細は添付書類1のとおり
汚染土壌の体積	3,102.7m ³ ※詳細は添付書類2のとおり
汚染土壌の運搬の方法	陸上運搬（自動車） ※詳細は添付書類3のとおり
汚染土壌を運搬する者の氏名又は名称	株式会社K S J
汚染土壌を処理する者の氏名又は名称	ケイエスライン株式会社 香取土壌浄化施設
汚染土壌を処理する施設の所在地	千葉県香取郡多古町千田字裏山56番
汚染土壌の搬出の着手予定日	平成28年 11 月 28 日
汚染土壌の搬出完了予定日	平成28年 6 月 30 日
汚染土壌の運搬完了予定日	平成29年 6 月 30 日
汚染土壌の処理完了予定日	平成29年 2 月 27 日
運搬の用に供する自動車等の使用者の氏名又は名称及び連絡先	※詳細は添付書類4、5のとおり
積替えを行う場所の所在地並びに所有者の氏名又は名称及び連絡先（運搬の際、積替えを行う場合に限る。）	積替えは行わない。
保管施設の所在地並びに所有者の氏名又は名称及び連絡先（保管施設を用いる場合に限る。）	保管施設は用いない。

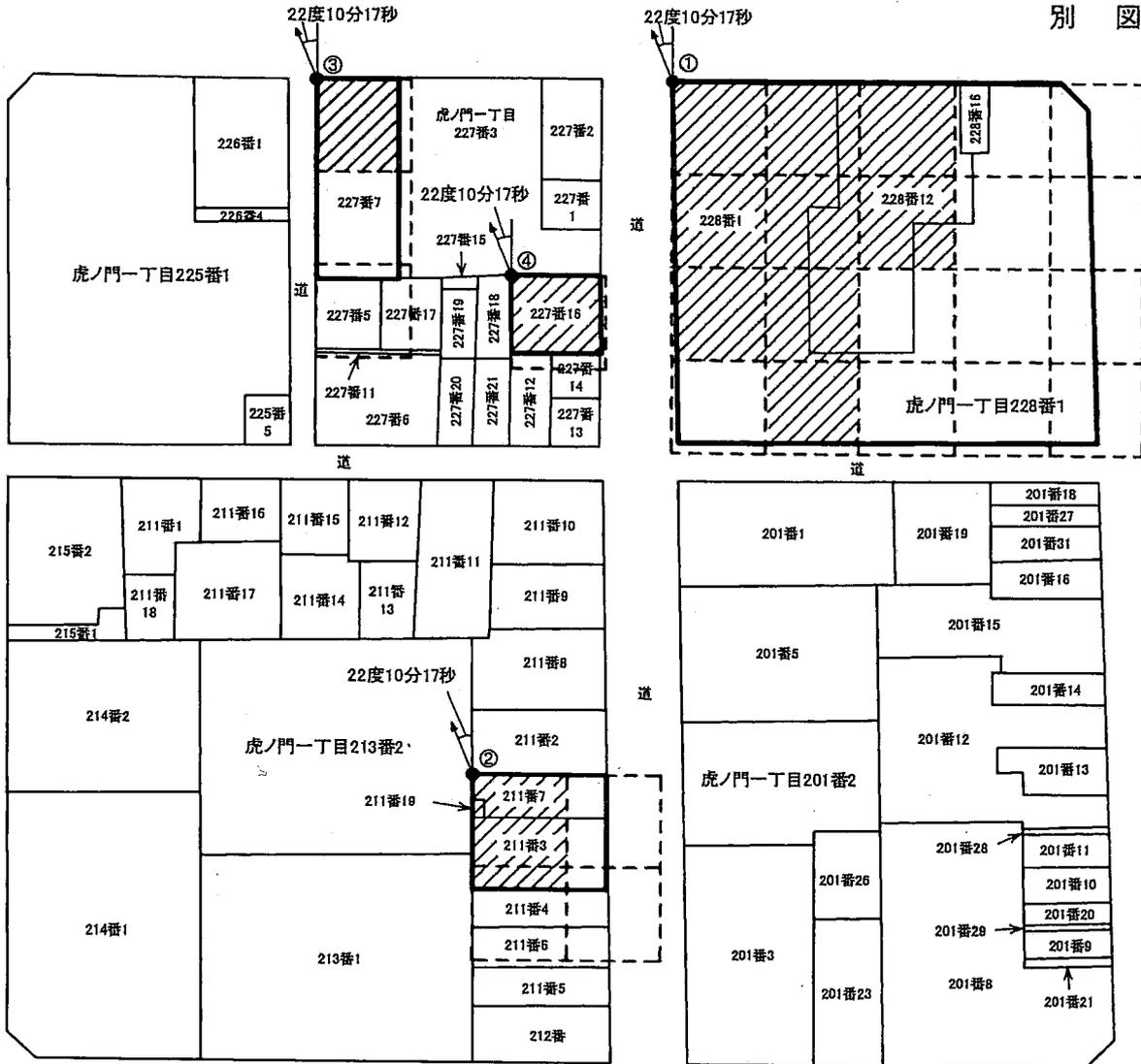


<連絡先> (株)大林組東京本店 虎ノ門一丁目工事事務所 建築事業部生産技術部
03-6457-9023 03-5769-1795

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

対象地における区域指定の土地
(都告示1797号 平成28年10月31日)

別 図



【 凡 例 】

- : 単位区画
- : 筆境界(地番境界)
- : 敷地境界
- ▨ : 形質変更時要届出区域

【 支 点 】

- ①: 支点は、港区虎ノ門一丁目228番1の最北端とした
- ②: 支点は、港区虎ノ門一丁目211番7の最北端とした
- ③: 支点は、港区虎ノ門一丁目227番7の最北端とした
- ④: 支点は、港区虎ノ門一丁目227番16の最北端とした

【 格子の回転角度(22度10分17秒) 】

格子の回転角度は、支点を通り、東西方向及び南北方向に引いた線並びにこれらと平行して10m間隔で引いた線により構成されている格子を、支点を中心として、右回りに回転させた角度を示す。

1. 2 形質変更時要届出区域の場所

指定年月日 : 平成28年10月31日

整理番号 : 整-28-86

指定番号 : 指-778号

今回の汚染土壤の搬出対象の区画（A地区 該当9単位区画（図1-2参照））

汚染土壤の搬出対象の区画
 （地番）港区虎ノ門一丁目 228-1 の一部、
 同番 12 の一部

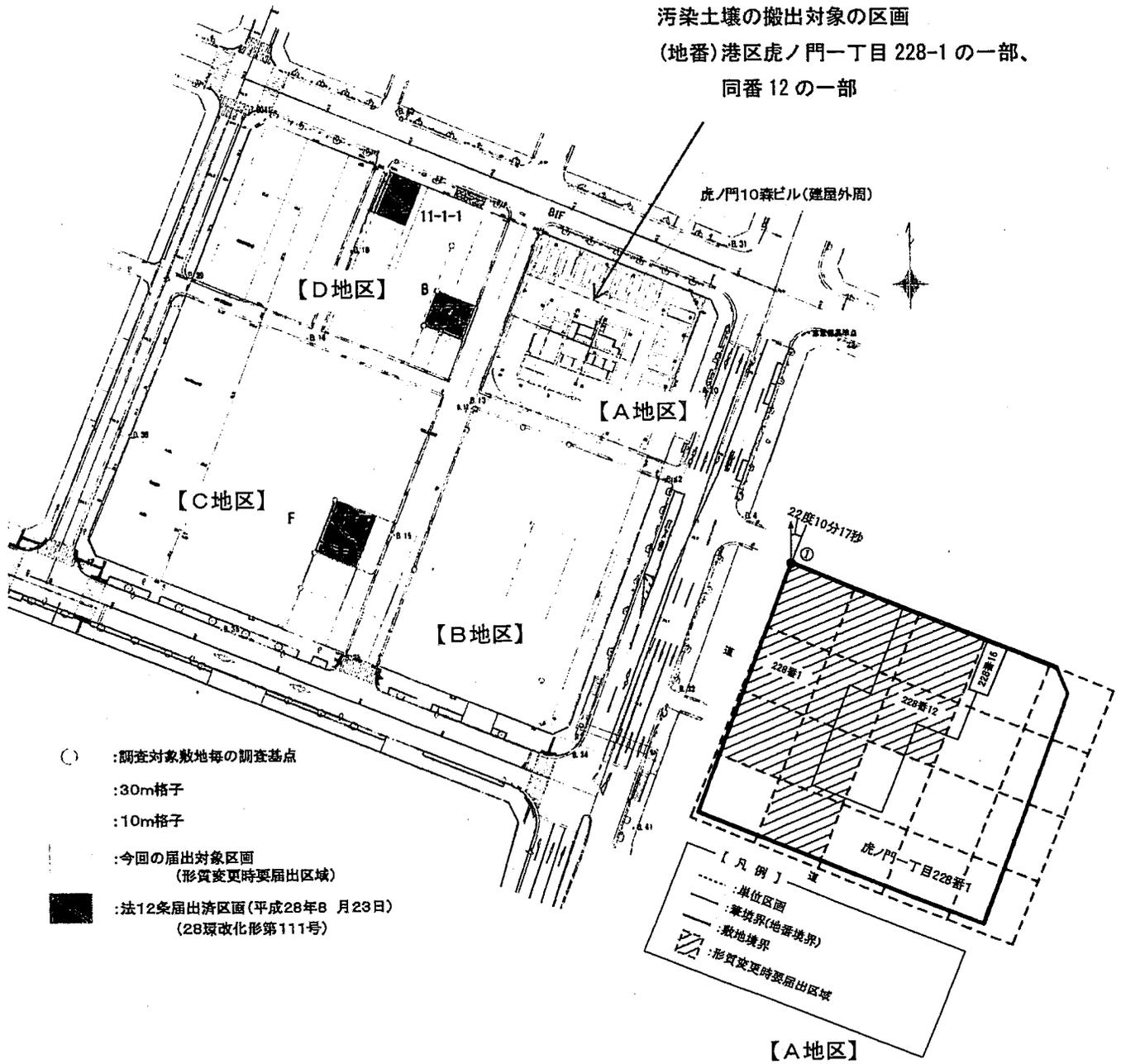
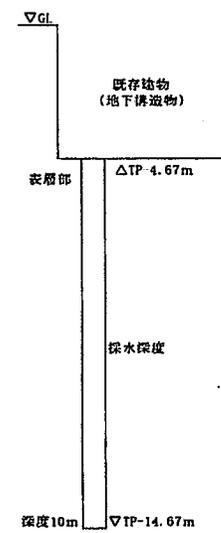


図 1-2 形質変更時要届出区域

1. 3 形質変更時要届出区域の汚染状態

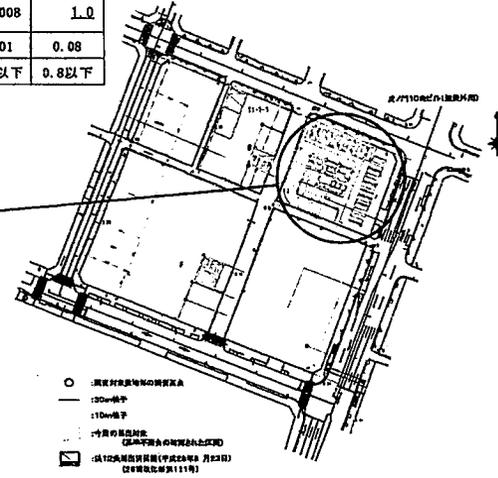
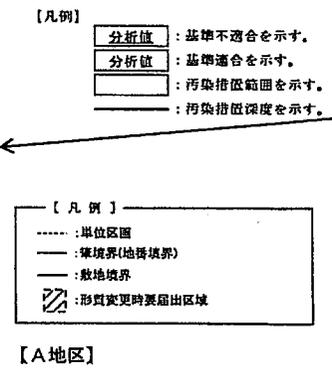
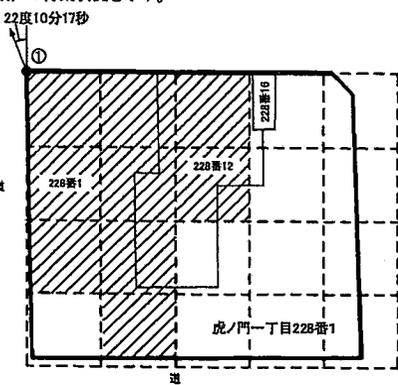
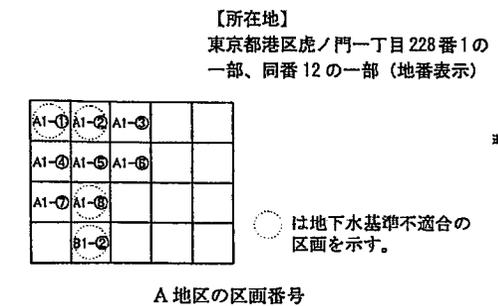
表1-1 分析結果一覧表 (基準不適合項目のみ) と各区画の汚染措置深度及び基準不適合土壌の範囲の断面表 (A地区)

分析対象	区画名		A地区 I-1																				
			A1-①		A1-②		A1-③		A1-④		A1-⑤		A1-⑥		A1-⑦		A1-⑧		B1-②				
	特定有害物質の名称	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素		
分析項目	分析項目		硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	
	分析深度	分析項目	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	硫酸	かつ素	
土壌	深度	GL. (m)	TP. (m)	単位 (mg/L)																			
	地盤	0.00	+2.70																				
	既存B1F	0.50	+2.20																				
	既存B2F	6.88	-1.95																				
	既存基礎部	9.60	-4.67																				
	表層部	9.60 ~10.10	-4.67 ~-5.17	0.047	1.5	0.068	1.1	0.082	1.6	0.084	1.8	0.068	1.2	0.073	1.7	0.083	1.4	0.050	1.3	0.046	1.8		
	1m	10.60	-5.67	0.027	1.3	0.048	1.2	0.048	1.4	0.046	1.4	0.045	1.2	0.044	1.5	0.045	1.3	0.035	1.2	0.039	1.4		
	2m	11.60	-6.67	0.035	1.1	0.049	1.3	0.048	1.3	0.038	1.2	0.039	1.0	0.039	1.0	0.030	1.2	0.029	1.1	0.039	1.4		
	3m	12.60	-7.67	0.033	1.0	0.046	1.0	0.040	1.2	0.039	1.2	0.044	1.1	0.035	1.0	0.034	1.2	0.027	1.1	0.034	1.4		
	4m	13.60	-8.67	0.027	1.0	0.032	0.92	0.036	1.1	0.036	1.1	0.028	0.87	0.028	1.1	0.031	1.1	0.026	1.0	0.032	1.2		
	5m	14.60	-9.67	0.012	0.95	0.017	0.80	0.023	0.97	0.015	1.0	0.023	0.79	0.026	0.83	0.021	1.1	0.018	0.87	0.020	1.0		
	6m	15.60	-10.67	0.014	0.74	0.016	0.57	0.021	0.79	0.020	0.77	0.016	0.58	0.012	0.64	0.021	0.86	0.011	0.69	0.010	0.79		
7m	16.60	-11.67	0.018	0.82	0.020	—	0.014	0.61	0.016	0.63	0.016	—	0.012	0.36	0.020	0.68	0.016	0.57	0.017	0.58			
8m	17.60	-12.67	0.006	—	0.004	—	0.011	—	0.007	—	0.013	—	0.011	—	0.007	0.40	0.006	—	0.006	—			
9m	18.60	-13.67	0.004	—	0.003	—	0.005	—	0.008	—	0.005	—	0.008	—	0.007	—	0.004	—	0.005	—			
10m	19.60	-14.67	—	—	—	—	0.003	—	—	—	0.003	—	0.004	—	—	—	—	—	—	—			
定量下限値			0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	
汚染判断の基準			0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下	
地下水	探水深度	13.5 ~14.5	-8.67 ~-9.67	0.016	0.33	0.014	1.1	0.003	0.31	0.006	0.35	0.009	0.40	0.007	0.27	0.007	0.39	0.014	1.0	0.008	1.0		
	定量下限値			0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08	0.001	0.08
	汚染判断の基準			0.01以下	0.8以下	0.01以下	0.8以下																



<飲料採取部の断面概要>

注) 上表は、既存建物内部に土壌を埋め戻した後 (区域外への汚染土壌搬出を伴う工事着手前) の汚染状況を示す。



3. 汚染土壌の運搬の方法

汚染土壌の運搬方法は、汚染土壌の運搬フローを図1に示すとおりとする。

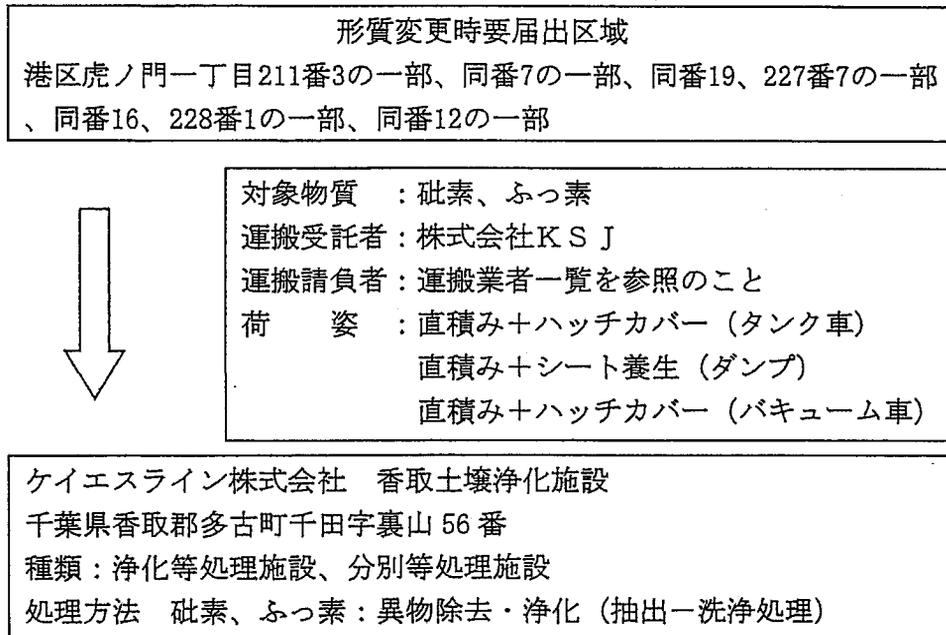


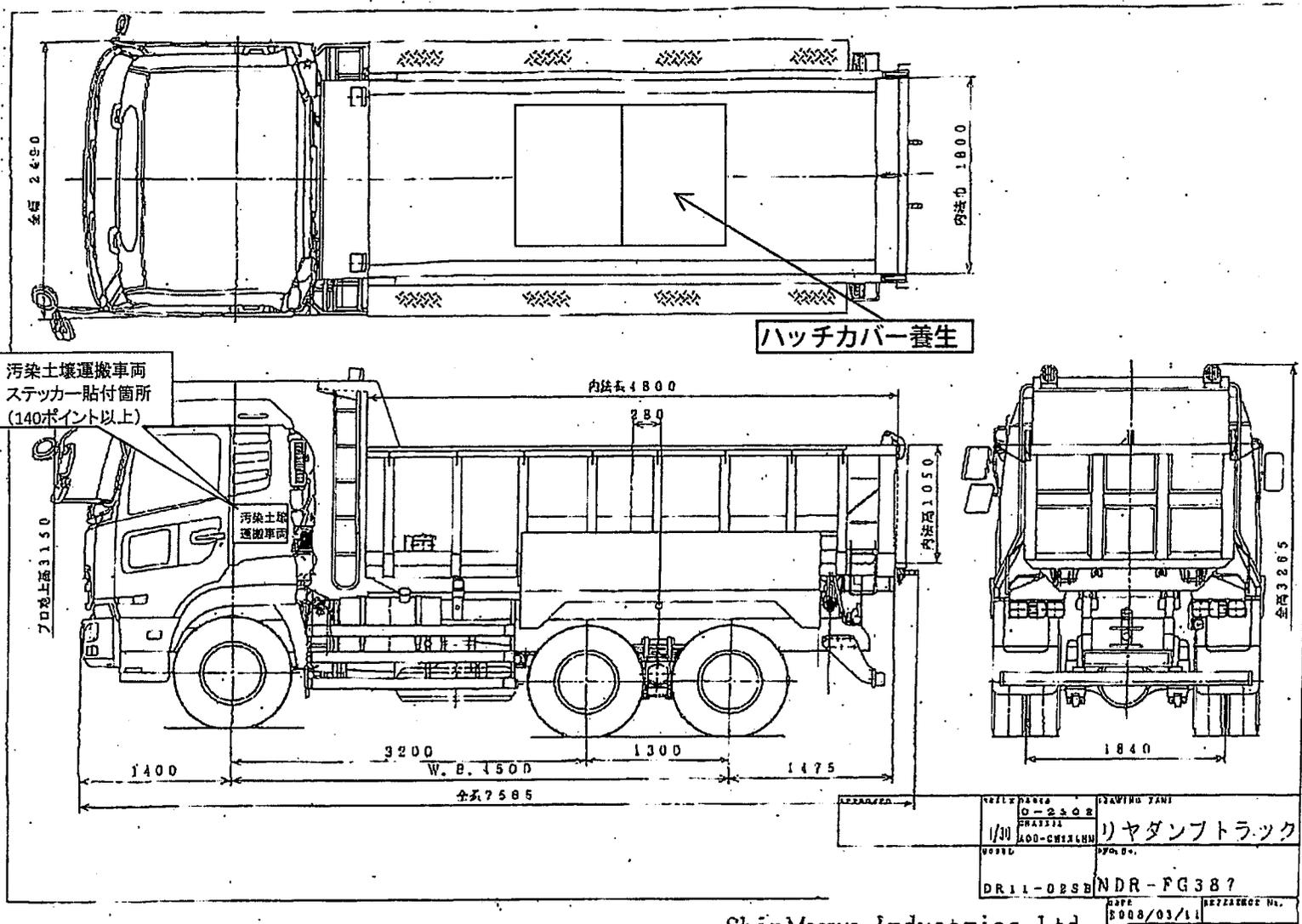
図1 汚染土壌の運搬フロー

4. 汚染土壌の運搬の用に供する自動車に関する書類

汚染土壌運搬業者

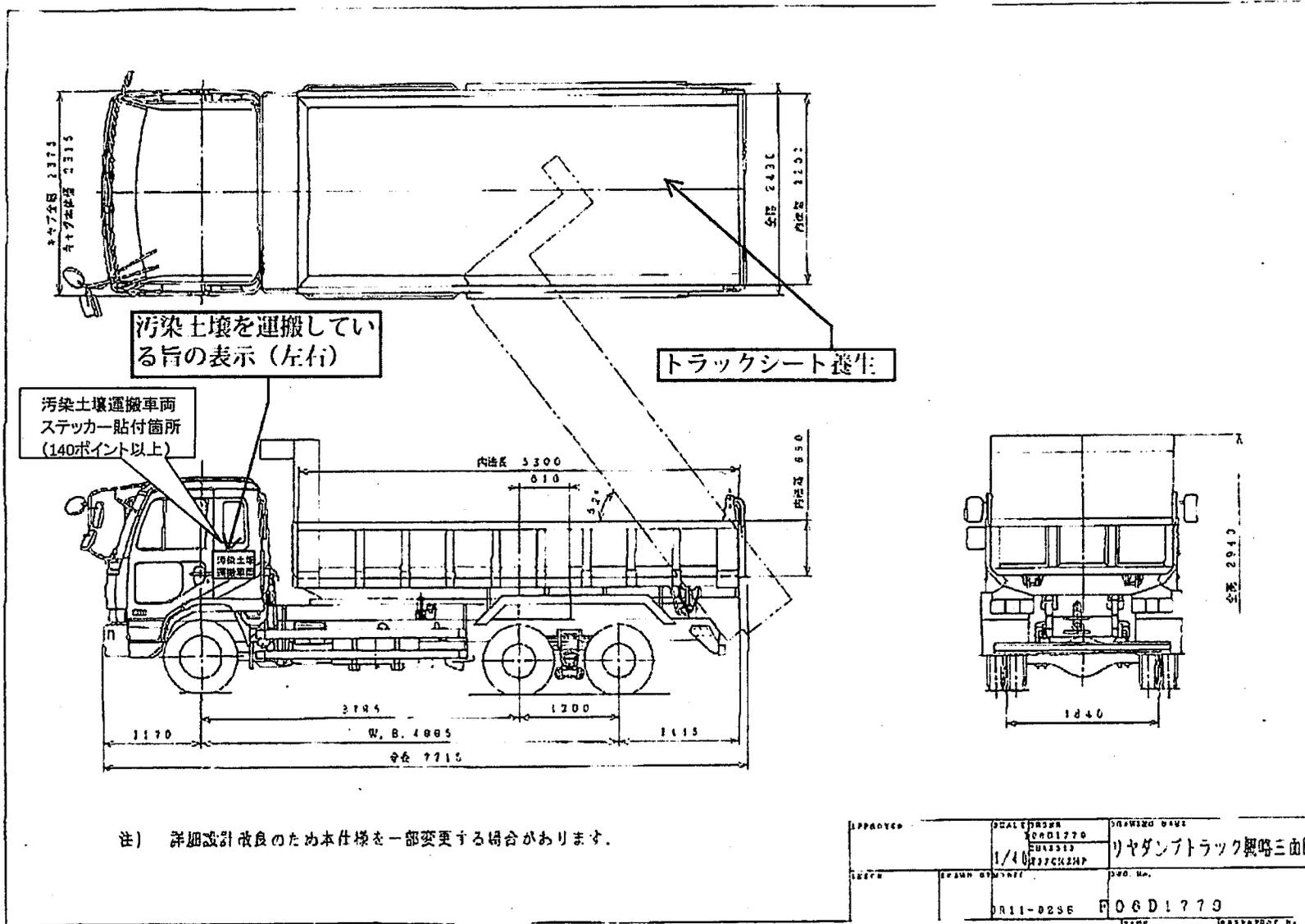
自動車等の 使用者の氏名等	住所	連絡先	車体の形状	汚染土壌の 種類	飛散等を防止する構造
株式会社K S J	東京都江戸川区 船堀一丁目 7番6号	03-5667-5333	タンク車	砒素 ふっ素	直積み+ハッチカバー
			ダンプ		直積み+シート養生
			バキューム車		直積み+ハッチカバー
有限会社 宮崎興業	千葉県市川市 原木四丁目 14番地	047-328-4323	タンク車	砒素 ふっ素	直積み+ハッチカバー
			バキューム車		直積み+ハッチカバー
丸東商事 有限会社	東京都江戸川区 中葛西一丁目 31番52号	03-3686-4911	タンク車	砒素 ふっ素	直積み+ハッチカバー
			バキューム車		直積み+ハッチカバー
株式会社 ティーエム	東京都江戸川区 船堀三丁目 4番10号	03-6663-9666	タンク車	砒素 ふっ素	直積み+ハッチカバー
有限会社 中央建設機工	東京都江戸川区 船堀一丁目 7番6号	03-5667-5055	ダンプ	砒素 ふっ素	直積み+シート養生
有限会社 松田商会	東京都江戸川区 一之江二丁目 12番5号	03-5607-2035	ダンプ	砒素 ふっ素	直積み+シート養生
			バキューム車		直積み+ハッチカバー

タンク車の構造図



ShinMaywa Industries, Ltd

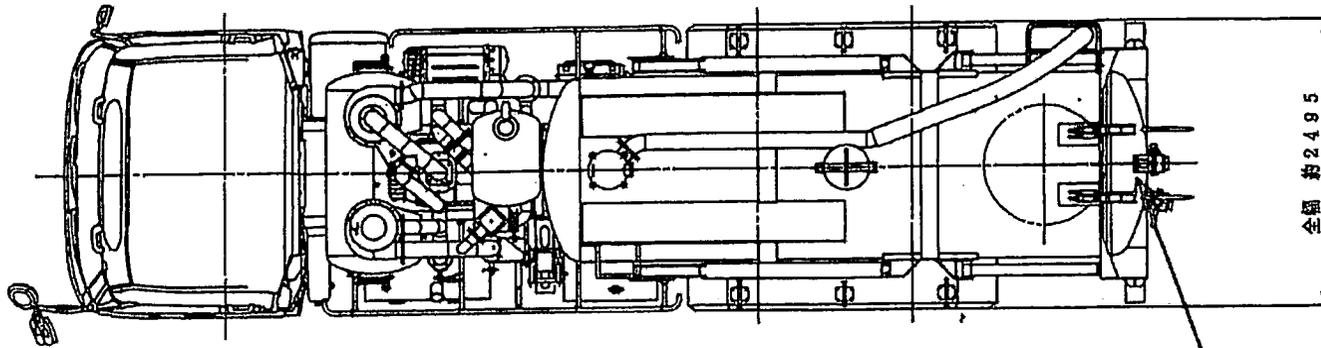
ダンプの構造図



ShinMaywa Industries, Ltd.

APPROVED	SCALE 1/40	DATE 06/14/08	DRAWING NAME
	06D1770		リヤダンプトラック製略三面図
	1/40		
	DR11-0236	F 06D1770	
		DATE 06/14/08	REFERENCE No. ENV5特設三面図

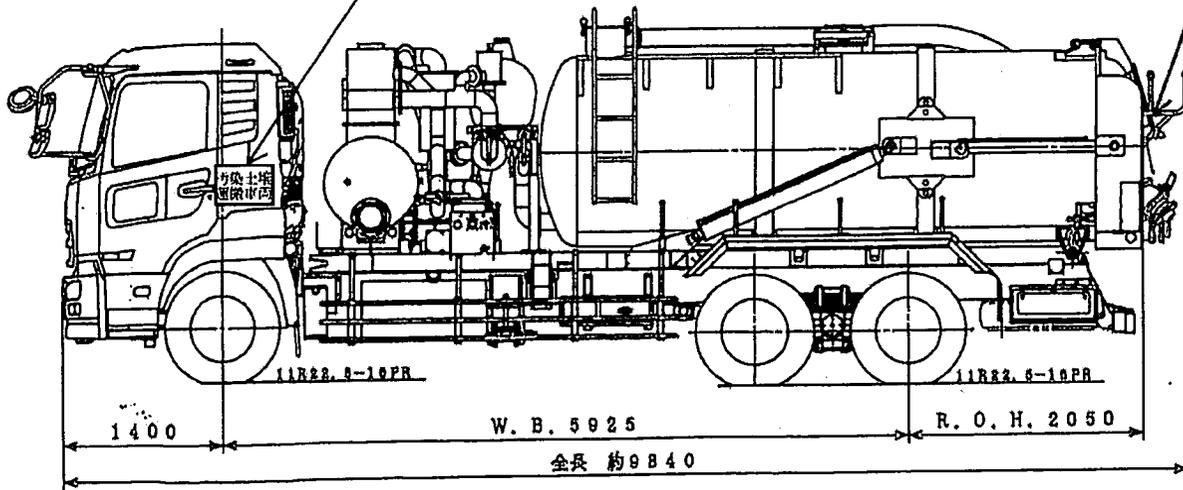
バキューム車の構造図



全高 約2495

汚染土壌運搬車両
ステッカー貼付箇所
(140ポイント以上)

ハッチカバー養生



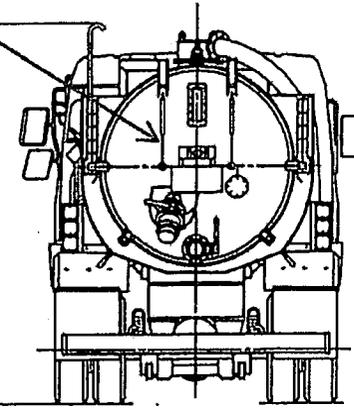
1400

W. B. 5925

R. O. H. 2050

全長 約9840

全高 約3220



APPROVED	SCALE 1/40	DRAWING NAME クリーンキューム
CHECK	DRAWN BY MODEL	DWG. No. GV11-W414C NGV-H200
		DATE 2012/03/05 REFERENCE No. H12V0060

ShinMaywa Industries, Ltd.